

令和6年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市デイサービスセンター	所在地	羽咋市鹿島路町1788番地
指定管理者	はくい農業協同組合		
住所	羽咋市太田町と105番地	選定方法	非公募
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
指定管理料	0千円(令和6年度決算額) ※歳入 1,388千円		
評価担当課	地域包括ケア推進室		
年度重点目標	地域への広報や居宅介護支援事業者との連携などの強化を図り、利用者数の増加につなげる。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	現地	出勤簿、QRコードでの出退勤管理システムを確認、勤務日程表確認
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	現地	内部研修を実施(コンプライアンス、個人情報、虐待防止)実施。市主催の看取りの研修会に参加。
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A	A	現地	直営(再委託無し)
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	現地	各種台帳、業務日誌、運行日誌確認
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	毎日の業務終了後、消毒液を使用し職員が掃除を実施。
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	書類	関係綴整備あり(水質、浄化槽、ボイラー等)ハサップ対策で、ねずみ・こん虫等の点検も実施。
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	書類	適切に実施
3 サービス向上への取組状況(アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	聞き取り	定型情報はJAホームページ、JA広報誌(かけはし)、その他行事案内等を地域へ配布
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	聞き取り	適切に実施
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A	A	聞き取り	令和7年2月から3月にかけて約3週間実施。利用者・家族の意見や要望について対応している。
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	書類	苦情受付簿、ミーティング等により情報共有し対応
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	書類(聞き取り)	単独で火災訓練を10月に実施済。2月に公民館と合同で避難訓練を実施。3月に土砂災害を想定した訓練を実施。
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A	A	聞き取り	利用者・職員、備品等の総合的な保険に加入し、証書は本店にて保管・管理

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A	A	現地	キャビネットに施錠して保管 開閉記録簿により使用者を把握
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	書類 (聞取り)	会計システムの勘定科目を細分化することで他事業との区分を図っている。同一法人が経営する他施設との共通経費があるため、単純経理化(通帳分離)は困難
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	書類	予算との乖離はなし。
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	A	書類	未収金なし。
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	S	書類	令和5年度は震災の影響で利用者が減少したが、令和6年度は利用者が戻ってきたことと新規利用者が増加した。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A	A	書類	適時提出(実績報告)
9	アンケート調査意見及び対応	利用者アンケートは、年度末に実施し、接遇・サービス共に良好。アンケート結果の内、すぐに対応できるもの是对応し、利用者の満足度向上につなげている。日頃の業務においても、利用者の苦情・要望等を把握することに努めている。苦情対応マニュアルもあり、体制も整っている。苦情や要望について対応記録等を取り、職員間で情報共有を行いサービス向上に努めている。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	事業の安定的かつ継続的な実施のため、利用者数の維持・確保の体制を継続するとともに、収入確保のため各種体制加算を活用し介護報酬を増やす努力が必要である。介護業界全体の問題でもあるが人員の確保のため、働きやすい環境の整備や研修制度の充実を図り、継続的な運営体制を整備していく必要がある。				
11	今後の管理方針	地域と密着した事業を続け、利用者の増加を図っている。今年度は近所の畑を借りて利用者とサツマイモづくりをし、町の方にも手伝ってもらっている。引き続き他事業所とのサービス内容の比較、サービス向上に向けた業務改善等を検証した上で、地域に対して積極的に情報提供を行うとともに地区組織との連携を強化し、利用者数の安定・増加につなげていく必要がある。 設備等の経年劣化が見られ、特にボイラーについては今後修繕費等の発生が見込まれるため、設備や備品の計画的な更新など、適切な施設管理が望まれる。 一方で、現在では民間による様々な介護サービスが充足されていることから、公設でのデイサービス事業のあり方も検討する必要がある。				
総合評価	中間評価		年間評価		令和5年度	令和4年度
	A		A		A	A

【別紙】指定管理者制度施設の利用者数及び収入額について

【注意点】

1. 各施設ごとに記入してください。
2. 差引増減数及び増減額が大きい場合は理由を記入してください。
3. 表が足りない場合は、表又はシートをコピーしてください。

【所管課】 地域包括ケア推進室

【施設名】

羽咋市デイサービスセンター

1. 利用者について

(単位:人)

	今年度 利用者数	前年度 利用者数	差引	増減率(%)
上半期(4月～9月)	2,271	2,070	201	9.7
下半期(10月～3月)	2,412	1,872	540	28.8
計	4,683	3,942	741	18.8
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	震災の影響で減少していた利用者が戻ってきたり、新規利用者を 受け入れたりしたことによる増加。			

2. 使用料又は利用料について

(単位:千円)

	今年度使用料 又は利用料	前年度使用料 又は利用料	差引	増減率(%)
上半期(4月～9月)	21,918	19,731	2,187	11.1
下半期(10月～3月)	23,360	18,146	5,214	28.7
計	45,278	37,877	7,401	19.5
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	利用者の増加による利用料収入の増加			